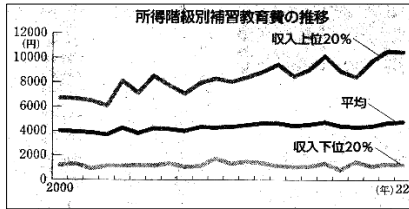




一般質問を終えて(9/11)

中学校の部活動改革について6月定例会に引き続き質問しました。教育長の答弁は「先生が大変」と学校側の視点が強く気になりました。

このまま中学校の部活動を学校の教育外にして塾のように家庭の責任にしたときに、義務教育課程の子どもたちを取り残さずにスポーツ・文化活動につなぐ事ができるのか。学校に行けば今まで普通にスポーツなどに参加できていたのに自分で、お金を払い契約しなければ参加できなくなるということです。



表のように世帯の収入格差は塾などの補習教育費に直結します。収入が500万円未満の下位20%の家庭では2千円を切るのに、上位20%は1万円を超えています。(総務省「家計調査」より)

私は「家庭にもある程度の負担はしていただく」というのが前提の地域クラブに、どの家庭も参加できるわけではないと思います。

国は休日のみ移行を打ち出しています。平日にまで言及できなかったのは指導体制、費用負担など余りに課題が多いからだと思いましたが。教育長は、「3年後の移行は譲らない。おしりをきって移行する」と言い切りました。本来無償であるべき義務教育がどんどん後退していく…

今急ぐべきは先生を増やすこと、教育費を増額させること、給特法のもと容認されている教員のただ働きをなくすことです。問題解決の方向が間違っていると思います。もう一つは、公共施設の責任ある管理運用について質問しました。

税金でつくられた公共施設は市民全体の福祉の増進のためにあるのですから、お金を使うのはある意味当たり前。お荷物扱いせず、責任持って活用していくべきです。ネット環境の整備や、貸し出しルールの明確化などしっかり示していただけよう提案しました。詳しくは「共産党市議会だより」で



ベゴニア

無謀・無策・無責任

極まる岸田政権

漁業者との約束を反故にし原発事故の汚染水(アルプス処理水)を海洋放出し、関係者を裏切った政府、東電。国は中国の水産物輸入停止を想定していなかったと言いますが、メルトダウンした炉心に触れた水の海洋放出への不安が払拭できないのは当然だと思います。マイナンバーカードのトラブルは「自分で誤っていないか点検して」と国民任せ。2割ほどの自治体しか個人データの点検はしていません。保険証の紐付けが終わっていないため窓口でマイナ保険証資格確認ができない事態も発生。

数々の戦前の加害体験さえ否定してなかったことにし、軍拡にまい進です。11月には国連で第2回核兵器禁止条約締約国会議が開かれます。唯一の被爆国なのに、被害者救済なども議題としていない。会議にアメリカの顔色を伺ってオズバー参加もしないなんてありえないと思います。

「選挙に行っても政治は変わらない」のではなく、「選挙に行かないから政治が変わらない」。一緒に政治をかえましょう。

中東遠総合医療センター

医師の逮捕・起訴を受けて

小児科という一番声があげにくい場所ので起きた医師による性犯罪は本当にショックのひとことです。市立病院であれば市長が責任を明らかにするところですが、中東遠総合医療センターは企業団の病院。企業長は院長で、議会は袋井との企業団議会。今後複数事件を見逃した経緯や調査、相談窓口の設置、再発防止策、被害者の救済など責任ある対応が求められます。私はこの企業団の議員でもあるので、しっかりした対応を求めています。

希望の丘マルシェ

リハビリ、在宅復帰の支援をする包括ケア病棟や老健施設、介護医療院、在宅診療など中東遠などの次を担う東病院の院内ツアーにも参加したかったのですが、申込多数でダメでした。

暑い日でしたが、子どもたちは消防服を着込んでミニ消防士さんを楽しんでいました。

